

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	21	利用者同士の係わり合いをもっていただくため、日常の散歩のほか、外出行事を月1回以上行う。また、ご本人の自主性重視と無理のない外出へのお誘いが課題。	居室の掃除、洗濯、共有部分の掃除、入浴介助等の個別支援を行うとともに、全員で参加できるレクリエーションや行事がバランスよく実施できるようにする。	実現のための日課を見直し、実施に向けた週間・月間の見通しを立てる。	3ヶ月
2	29	地域資源についてほとんど把握しておらず、利用者様に還元されていない。	ボランティアや認知症の理解を深めるための取り組み等、地域資源について行政、社協から情報を得る。	得た情報を事業に取り入れる。また、地域包括支援センターと協働し、認知症についての理解を広めていけるようにする。	12ヶ月
3	35	防災訓練は施設単独で実施しており、地域への協力や周知を行っていない。	地域にある施設として、地域住民に関心をもっていたりいただけるような取り組みを行う。	地域にある施設として、地域住民に関心をもっていたりいただけるよう広報活動を行う。また、防災訓練に推進委員会のメンバーを始め地域の方へ周知し、参加協力をいただく。	12ヶ月
4	3	認知症の方の介護に関する知識を地域に還元していない。また、施設について周知が不十分。	運営推進会議で情報の提供方法について相談し、ご意見を伺う。	提言に基づき実施していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。